

団員総会

平成5年10月26日(火)

議長 永元千子

書記 太田真砂子

団員 29名

出席 11名 委任状 13名

- 1) 平成4年度活動報告 山田より
やるだけのことはやった 団歌、団服の問題は次年度へ
- 2) 会計報告 襖田より
特別会計 補助の142,030円は? 17万円予算にあげてある
差額は一般会計へ戻した
一般会計 コピー代が思ったよりかかった 楽譜代が浮いた
新聞広告にお金がかからなかった
団費の回収率は? 98%
助成金は? 入ったら一般会計へ入れる
名古屋市からののは会計へ入れ、愛知県からののは団員に返す
設備費はキーボード 録音費は音とりテープ
雑費...選曲用楽譜代がけっこうかかる
- 3) 団長より一言 後藤より
団員は入ってきた分だけ抜けていった 演奏会は300を超す動員
強化練習もよかった 来年も同様にがんばろう
- 4) 次年度スタッフ
団長 後藤和裕 技術チーフ 安達知津子 指揮者 後藤佳代
パートリーダー ソプラノ 太田 アルト 襖田 テナー 小島
ベース 喜久山
チーフマネージャー 山田哲也 会計 襖田恵美子 広報 古川
連絡係 君野 パーソナルマネージャー 後藤 安達
- 5) 次年度方針
人を増やす ポスターを作って貼ろう
技術面の核となる人がいない 方針と合った先生を入れよう
シドニー公演とは? 3年ぐらい前よりいっている夢
合唱祭 演奏会やろう
- 6) 技術方針
みんなで音楽をつくらう 発声、技術的にもう少しつっこんで
指揮者のつては? 金額その他の問題
- 7) 予算(案)
助成金の額は場所によって違うので取入は上まわる可能性あり
愛知県の助成金は降りたら、次年度特別会計で決算 名古屋市のは確実なので一般

演奏会 特別会計 会計報告

H.5 9.30

<収入>

入札 302,000

$$\begin{aligned} & (14000 \times 18 = 252000 \\ & (10000 \times 4 = 40000 \\ & (5000 \times 2 = 10000 \end{aligned}$$

当日精算(41枚) 20,500

当日券(10枚) 5,000

御祝儀(説明様) 10,000

一般会計から補助 142,030

計 479,530

<支出>

会場費(電気文化館へ) 204,970

(設備使用料 140,000
付属設備使用料 59,000
消費税 5,970

著作権料 13,890

印刷代 103,000

ピアノ調律料 22,660

通信費 3,480

複写費 3,426

駐車場代 1,540

各方面御礼 94,868

(ピアニスト 70,000
ステマネ 5,000
譜めし 5,000
アナウンサー 5,000
VTRマン 2,000
カメラマン 2,000
受付 5,868

打上げ補助 10,000

お弁当代・お茶 7,384

雑費 14,312

計 479,530

差引残高 0

決算報告

5 10 26

収入

団費	497,500
前年度繰越金	328,832
名古屋市助成金	45,000
その他	20,000
	891,332

支出

		予算との比較
練習場費	200,780	-19220
通信費	50,283	+ 283
複写費	25,269	+15269
録音費	15,368	+ 5368
情報宣伝費	8,700	-41300
設備費	50,000	±0
合唱連盟費	36,450	+11450
演奏会補助	142,030	-27970
20周年積立金	50,000	±0
その他雑費	59,697	+25865
次年度繰越金	252,755	
	891,332	

団服購入の予定だった予備費 60,000円及び
 演奏技術料 80,000円が未使用であること、
 収入が予算を 82,500円 上まわったことにより、
 次年度繰越金が 200,000円と なる結果に
 なった。

技術委員会 新年度の活動について

H5.10.26

1 活動方針
 みんなで心とハーモニーがひとつにとけあった音楽をつくろう

2 具体的活動内容

《常時活動》

◎集中練習（発声指導）

外部に専門の指導者を依頼し、月に一度（第三火曜）発声・曲づくりの指導を受ける。

◎常時練習

単なる音とり練習に終わらないよう、充実したものをめざす。

歌入りの音とりテープをつくる。（暗譜目標）

録音した練習テープをみんなで聴く機会をつくる。

（どんなハーモニーが美しいのか、聴く耳をつくる練習）

《特別活動》

練習した曲を発表する場を設ける。

（人前で演奏することにより、実力をアップさせる。）

歌いたい曲や、やりたいことがありましたら、どんどん意見をお寄せください。

93/10/26

平成4 年度反省と次年度方針 (案)

一年の総決算である演奏会は会場が変わりオルガニストら多数参加成功をみた。

新聞を通じての団員集めも電話での問い合わせも多数有り三浦さんも入団し成果があったと思う

しかし下記にあげた問題点は前年にもあったが、今年度もひきつづき残る結果となった。問題の性格上、一年ではむずかしい問題もあるので問題点と反省点を明確にし目標に向かっていく。

- 1) 団員不足 入った団員も例年に比べ多かったと思うがまた仕事の事情などにより退団された方も多かった
- 2) 練習人口不足 依然集まりが遅い
- 3) 音楽技術の問題 練習を見学に来た人は数名いたがほとんど定着しない
技術としての核となる指導者がなく
きびしい練習状況が続いた
- 4) 演奏会費用 今年指揮者の頑張りによるところが大きい
会計報告を分けたので昨年に比べ随分分かりやすくなったと思う。計画どりの会費収入があった。またピアニストも演奏会会計に含まれているので一般会計での技術料が計上されていないので一般経費が低く抑えられ昨年と同じ程度の繰越金がでた。
- 5) 団員の目的意識の問題等 明確な意志がない 目的目標が定かでない
スタッフからの明示が不充分

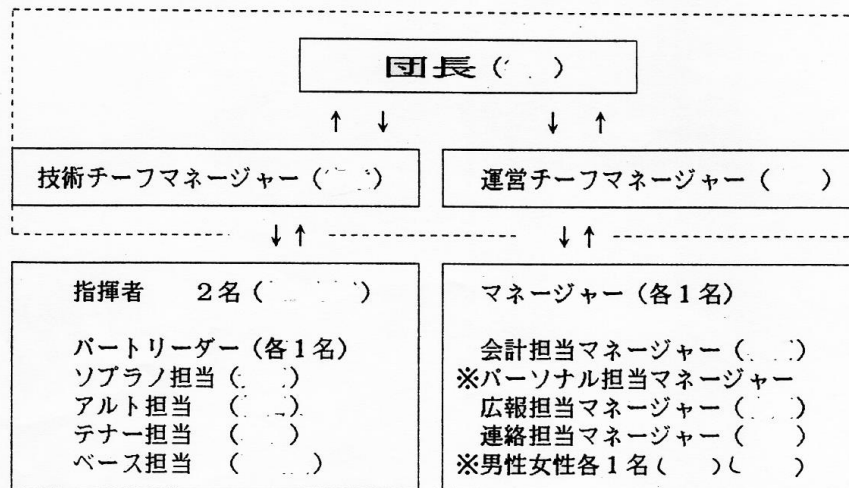
今後の方針

★今池混声合唱団の目的と目標

昨年あげた通りの長期方針はかわっていませんが、日本経済も不況の時代を向かえております。皆さまいかかえてしょうか。長期方針として打ち立てた”音楽内容の充実””合唱団員の増員”また”シドニー公演”はいささかの变化もありますが、こうした不況かでの音楽活動も制約を受ける部分があるのでてくるように思います今年には特に皆さまの協力がいまままで以上に必要になってくるのでみんなで助け合って頑張ろうではありませんか。なかなかスタッフとしても行き届かないところもあるかも知れませんが、皆さんの協力をえ、より発展させていきたいと思ひます。

スタッフ組織について

本年度も団運営をより円滑にするため以下のスタッフ組織にしたいと思ひます。宜しくお願ひします。尚、このスタッフ組織は団活動をより活発にするための過渡期的スタッフ組織であり、団規約に抵触するものではありません。



- 役職職務 ※スタッフは兼任可
- 団長 団の目的のもと永続的な繁栄を計る責任者
幹部会、スタッフ会を召集する。 団の魅力作りを行う。
- 運営チーフマネージャー 渉内マネージャーを統括し行事を中心とした円滑な団運営を図る
団員を増やす。練習人口を増やす。 対外活動。
- 技術チーフマネージャー 技術委員会を統括してより芸術性の高い音楽作りをする
技術委員会をまとめる
- 指揮者 演奏責任者
- パートリーダー ソプラノ担当 アルト担当 テナー担当 ベース担当
技術チーフ、指揮者の補助をしてパートの音作りをする
- 会計担当マネージャー 会計担当
- パーソナル担当マネージャー (人事) 新人会員の面倒をみる、会員の状況を把握
- 広報担当マネージャー エーデルワイス等の発行によりスタッフと会員、会員相互の理解に役立てる (発行物に関して)
- 連絡担当マネージャー 主に電話連絡、連絡もれの無いようにする
- ※ イベントにおいては担当者とその都度決める
- ※ 月に一度のスタッフ会を予定

予算(案)

5.10.26

収入

団費	360.000
前年度繰越金	252.755
名古屋市助成金	45.000
	657.755

団費収入の内訳

$24.000 \times 12人 = 288.000$
 $6.000 \times 12人 = 72.000$ (100%回収)

支出

練習場費	220.000	
通信費	60.000	
複写費	25.000	
録音費	20.000	
情報宣伝費	30.000	
設備費	20.000	(音出笛・譜面台等)
合唱連盟費	38.000	
20周年積立金	50.000	
技術料	50.000	(マイク・アンプ等)
予備費	80.000	(Tシャツ・Tレター等)
その他雑費	64.755	
	657.755	

5.10.26現在 20周年積立貯金の残高は 50.000円である。